

キャラクター名  
阿砂利 圭人 (あじゃり けいと)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ウロボロス	ワークス	FHセルリーダーク	カヴァー	貴族
オプション		年齢	35	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	自傷	初期侵食率	39 %
出自	待ち望まれた子	経験	敵性組織	邂逅	闘争 (欲望表)

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2		0			2	行動値	9
感覚	3		0			3	(非装備時)	9
精神	2	1	0			3	戦闘移動	14
社会	1		0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1	1	調達	1	
運転:			芸術:			知識: 宝石	2		情報: FH	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
シールドクリエイイト (~100)		0	17			
シールドクリエイイト (100~)			19			

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: FH幹部					
思い出の一品					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
Dロイス: 錬金術師P		N			
アルフレッド・J・コードウェルP	尽力	N 不安			
都築京香	P 執着	N 侮蔑			
キャプテン・ジャンジャックP	執着	N 侮蔑			
死者の宝冠	P 有為	N 脅威			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:	1		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
シールドクリエイイト	5	5	マイナ	至近	自動	自動		
効果: G値17 [Lv×2]+4+3								
ダブルクリエイイト	1	3	マイナ	至近	自身	自動		
効果: 二つ生成								
物質合成	1	5	Xジャー	至近	自身	自動	100	
効果: シーン1 装備品の能力値を合算したアイテム作成								
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果: メインプロセス1回 カバーリング								
雲散霧消	5	4	オート	至近	選択(範囲)	自動		
効果: ラウンド1 ダメージ-25[Lv×5]								
原初の紫: 八重垣	1	4	オート	至近	自身	自動		
効果: 二つの武器のG値を合算								
スピードクリエイイト	1							
効果:								
急速分解	★							
効果:								
まだらの紐	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

今は古き錬金術師の末裔にして、待ち望まれた子。  
15年前からUGNエージェントとして活動していた結構な古株であったが、UGN支部長として活動していた数年後コードウェル博士の帰還と共に、FHに鞍替えし、現在はFHセル《OZ - オズ》のセルリーダーク。  
稀に一般人に紛れて競売会に参加している姿が目撃されている。

コードウェル博士には、信仰、陶醉とも言える感情を抱いている。  
今、彼の目的はゼノスの壊滅。ひいては、プランナー・都築京香の抹殺。

共感を得ることはあるかもしれないが、理解される事はない彼独自の美学感がある。  
戦いに対しても独自の美学を抱いており、「闘争は人間同士で行うからこそ意味がある」ものであるという持論を持つ。  
「人々の戦う姿勢」を美しいものとして愛しているが、命を奪うものとして戦いを「悪」と認識しているなどの真つ当な倫理観も持ち合わせる。  
プランナーを殺そうとする自分自身も決して肯定せず「悪」だと認識している。  
それだけで止まらないため、正義に対する正義などでもなく、まさに悪人としか言いようがない。

(※PC1に対して)  
「愛とはあらゆる全ての生命体を持つことが許された力の根源だ。だが、愛はその想い故に、思考を遅らせ刃を鈍らせる。君がもしその場面に直面した時、愛に溺れてくれるなよ」と個人の意思は尊重している。

『プランナー・都築京香』  
FHを離反した事もあるが、何より、その為、闘争に対して第三者の意思が介入し、闘争その物を歪めてしまう可能性を持つプランナーの存在を忌み嫌う。  
『キャプテン・ジャンジャック』  
その生への執着に感服すら覚えるが、それは最早生き汚い。と言う自らの美学に基づいて止めを刺す機会を窺っている。